

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 理念をホームの職員室に掲示し、朝礼の中で唱和をしている。研修会参加後は復命し、共有できるように必要なことについては文書にして掲示しているが、職員等の入れ替わりがあり十分ではない。 | 事業所全体が理念を共有し、ケアの実践につなげていく。新しいスタッフにも理念の十分な理解を図る。 | 地域密着型サービス(GH)にかかる研修を行う。会議等の機会に振り返りを行う。入社時の研修カリキュラムを見直す。必要なら理念の再構築を考える。 | 6ヶ月 |
| 2 | 6 | 日中玄関のドアは開錠している。夜間のみベッドの四点柵をする必要がある入居者については同意を得て行っている。しかし、拘束解除に向けた検討会等は不十分ある。 | 拘束解除に向けた会議と記録を残し、拘束が一時的であるよう取り組む。 | 身体拘束について定期的に検討会を実施し、記録を残す。不必要な拘束ではないか？他に方法はないのか？の視点を常に持ってケアに取り組む。 | 6ヶ月 |
| 3 | 2 | 地域との関わりはあるものの、地域の中に入っての交流の機会は少ない。GH・認知症について理解されていないのではないだろうか。 | 地域との交流の活性化、GH・認知症について等の知識・理解を深める | ホーム見学等を積極的に行う。ボランティア慰問等の行事を増やす。地域行事等に参加する。保育園生の慰問・訪問、小・中学生に向けた行事(学習会・インターン・シップの受け入れ等)を考える。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。